

こどもがしるべき

テトスへの

テトスへのは、パウロがクレテにいるきテトスにいたです。それゆえ、テモテへの、とあわせて、とばれます。テトスは、ギリシヤとして、い、をして、パウロの２にもしたでした。（15:36-18:23）パウロが「のわが」（テトス1:4）「」「」（Ⅱコリント8:23）とぶほど、パウロからめられていたでした。

テトスへのには、テトスをますことと、りのをして、みことばにづいたしいとすることについてかれています。

いま、たちがらしているとは、テトスがいたクレテのように、のみことばがえて、いろいろながこってにっています。そのときレムナントは、のどもとして、よりしいと、それにふさわしいをすることによって、とをかすえのモデルになるようにえられたです。11は、テトスへのをみながら、がたてられたであるから、のわがとばれるほど、のきにしましょう。